

「新潟県中越大震災」 による 被害と復旧状況



長岡市妙見町

元気だしいこ！新潟



新潟県土木部

平成16年12月13日作成

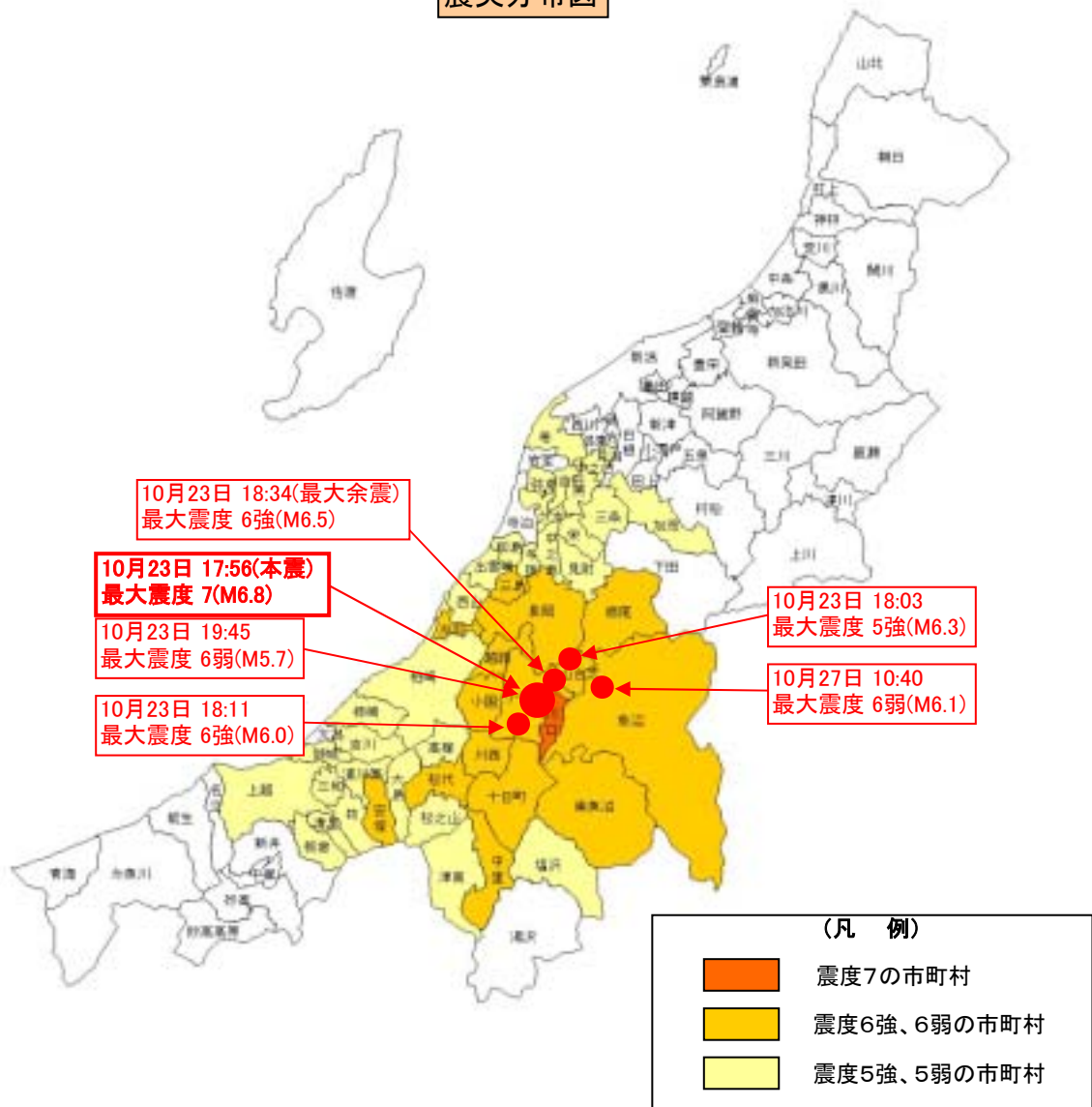
新潟県中越大震災の被害状況

●最大震度7、長引く余震～震度5弱以上の発生状況

日	時	最大震度	マグニチュード	日	時	最大震度	マグニチュード
2004/10/23	17:56	7	6.8	2004/10/23	19:45	6弱	5.7
"	17:59	5強	5.3	"	19:48	5弱	4.4
"	18:03	5強	6.3	2004/10/24	14:21	5強	5.0
"	18:07	5強	5.7	2004/10/25	0:28	5弱	5.3
"	18:11	6強	6.0	2004/10/25	6:04	5強	5.8
"	18:34	6強	6.5	2004/10/27	10:40	6弱	6.1
"	18:36	5弱	5.1	2004/11/04	8:57	5強	5.2
"	18:57	5強	5.3	2004/11/08	11:15	5強	5.9
"	19:36	5弱	5.3	2004/11/10	3:43	5弱	5.3

※最大震度 7:1回、6強:2回、6弱:2回、5強:8回、5弱:5回 (計18回)

震央分布図



最大震度5弱以上の地震
〔気象庁報道発表資料(暫定値)による〕

被害の発生状況

(次頁以降の箇所数等はH16.12.10現在の数値です。)

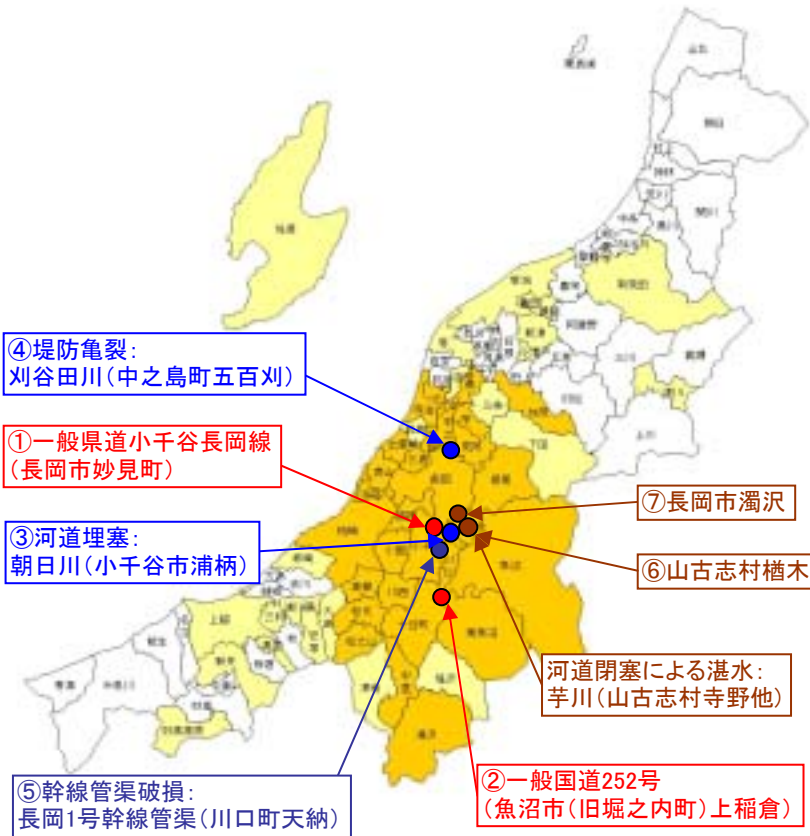
●被害総数

新潟県中越大地震災害対策本部
平成16年12月10日 9時00分現在

区分	人的被害(人)				住宅被害(棟数)				非住宅被害(棟)	その他被害		
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	公共施設+その他	道路	河川	崖崩れ等
新潟県計	40	0	2,990		2,729	706	8,747	85,118	34,259	6,062	229	442

※ 市町村等から報告があったものを記載

●県管理の公共土木施設(代表的な被災箇所)



(凡例)

死亡者または住家の全半壊があった市町村(29市町村)

負傷者または建物(住家・非住家)の被害があった市町村(24市町村)

※番号は次頁以降の写真番号

◆これまでの主な動き

- 【10月23日(土)】**
 - 17:56 地震発生(震度7)
 - 17:56 新潟県災害対策本部設置
 - 18:00 首相官邸の危機管理センターに「官邸対策室」を設置
 - 18:00 北陸地方整備局災害対策本部設置
 - 18:11 地震発生(地震6強)
 - 18:34 地震発生(震度6強)
 - 19:00 第1回新潟県災害対策本部会議
 - 19:20 総務省消防庁に対し緊急消防援助隊の派遣要請
 - 19:45 地震発生(震度6弱)
 - 21:05 自衛隊に対し災害派遣要請(長岡市、山古志村)
 - 政府調査団の先遣隊が新潟に到着
 - 政府が「現地連絡調整室」を設置(25日同支援対策室に改称)
- 【10月24日(日)】**
 - 2:15 第9管区海上保安本部に対応し援要請
 - 政府が「非常災害対策本部」を設置
 - 新潟県「災害救援ボランティア本部」を設置
 - 9:30 政府調査団(団長:村田防炎担当大臣)現地視察
 - 12:15 北側国土交通大臣現地視察
- 【10月25日(月)】**
 - 泉田新知事就任
 - 一部の村民を除き山古志村全村避難
- 【10月26日(火)】**
 - 被災者生活再建支援法を県内全市町村に適用
 - 12:25 小泉内閣総理大臣 現地視察
- 【10月27日(水)】**
 - 長岡市で仮設住宅の建設に着手
 - 10:40 地震発生(震度6弱)
 - 21:30 林田防炎担当副大臣現地対策本部入り
- 【10月28日(木)】**
 - 住宅相談所を設置(長岡市、十日町市)
- 【10月29日(金)】**
 - 麻生総務大臣現地視察
- 【10月30日(土)】**
 - 麻生総務大臣現地視察
 - 蓮実、岩井両国土交通副大臣現地調査
- 【11月1日(月)】**
 - 衆参議院災害対策特別委員会 現地調査
 - 空き家情報提供センターを設置
- 【11月3日(水)】**
 - 尾辻厚生労働相現地視察
- 【11月5日(金)】**
 - 9:00 国土交通省北陸地方整備局に「中越地震復旧対策準備室」を設置(11日から「中越地震復旧対策室」に改称)
 - 山古志村の寺野及び東竹沢地区の砂防事業を直轄砂防災害関連緊急事業として採択
 - 住宅修繕支援隊本部を設置
- 【11月6日(土)】**
 - 行幸啓(天皇・皇后両陛下が長岡市、小千谷市、川口町の避難所を激励に訪問)
- 【11月8日(月)】**
 - 15:00 第1回復旧・復興本部会議
- 【11月11日(木)】**
 - 全国知事会(泉田知事が特別立法制定に関する説明を行った)
 - 泉田知事、国への要望書提出
 - 国道291号の災害復旧工事を直轄代行工事とする(官報告示)
- 【11月12日(金)】**
 - 北陸地方整備局濁沢砂防事務所内に「芋川河道閉塞現地対策室」を設置
- 【11月17日(水)】**
 - 島村農林水産大臣現地調査
 - 国土交通省 中野・伊達政務官現地調査
- 【11月18日(木)】**
 - 第1回山古志村復旧・復興支援関係省庁連絡会議
- 【11月23日(火)】**
 - 新潟県中越地震・小千谷市合同慰霊祭
- 【11月24日(水)】**
 - 長岡市と小国町で仮設住宅への入居が始まる
 - 参議院災害特別委員会で泉田知事が被災地の現状と国への要望を説明
- 【11月25日(木)】**
 - 山古志村復旧・復興支援関係省庁連絡会議現地意見交換会
- 【11月26日(金)】**
 - 激甚災害に指定(閣議決定、12月1日施行)
- 【11月27日(土)】**
 - 林田防炎担当副大臣現地対策本部入り
- 【12月1日(水)】**
 - 新潟県観光復興会議開催(新潟市)
- 【12月3日(金)】**
 - 政府の新潟県中越地震現地支援対策室が解散
- 【12月4日(土)】**
 - 14:00 新潟県中越地震復興支援チャリティーマッチ「ジーコジャパン対リームチームVSアルビレックス新潟」開催(新潟スタジアム)
- 【12月10日(金)】**
 - 参議院国土交通委員会視察

道路の被害状況

◆全面通行止箇所数

災害状況等	全箇所数	現在規制箇所数
土砂崩れ	78 箇所	34 箇所
路面陥没・路肩決壊	108 箇所	32 箇所
事前通行規制	22 箇所	3 箇所
その他	16 箇所	0 箇所
合計	224 箇所	69 箇所

解除箇所数 155 箇所

- ・被害が大きく積雪期までに解除が困難な箇所 24 箇所
- ・冬期閉鎖区間であり解除が来春以降となる箇所 20 箇所

◆通行止めにより陸路が遮断されている集落

小千谷市(十二平)、山古志村(全域14地区)
計 15 箇所
一時陸路が遮断されたが、既に解消した集落 46

◆陸路での一時帰宅が不可能な集落

小千谷市(十二平)、山古志村(榎木、木籠、梶金)
計 4 箇所

①



今回の地震で発生した土砂崩れや路面陥没、路肩決壊などにより、県管理道路では延べ224箇所が全面通行止めとなった。

②



冬期の交通確保に向け、復旧作業を進めている。

【幹線道路の交通規制状況】

関越道	11月 5日	全線開通(11月26日 4車線開通)
国道17号	11月 2日	全線開通(和南津トンネルで片側交互通行)
国道117号	10月31日	全線開通(一部片側交互通行)
国道252号	11月30日	全線開通(一部片側交互通行)
国道290号	12月 2日	全線開通(一部片側交互通行)
国道351号	11月19日	全線開通(一部片側交互通行)

河川・海岸の被害状況

◆被害の発生状況

災害状況等	箇所数
河川堤防・護岸亀裂等	199 箇所
河川埋塞	215 箇所
海岸護岸	2 箇所

【主な箇所】

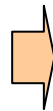
堤防亀裂： 刈谷田川 中之島町(中之島、五百刈)
 太田川 長岡市(村松町)
 河道埋塞： 朝日川 小千谷市(浦柄)
 和田川 広神村(小平尾)～山古志村(大谷地)

③



地震による地すべりや斜面崩壊により、朝日川などで、河川が埋塞し、河川水を堰き止めた。

④



7.13水害で被害があった刈谷田川では、地震によって堤防に亀裂が入り、仮締切矢板や堤防補強による応急復旧を進めている。

【復旧状況】

- ・ 河道が埋塞した河川では、通水断面を確保するための復旧工事を実施中。
- ・ 堤防に亀裂が入った河川では、堤防補強や良質土置換えによる築堤を実施中。

下水道の被害状況

◆主な被害施設(流域下水道)

- ・ 信濃川下流流域下水道(長岡処理区)
 - 長岡1号幹線管渠 3 箇所
 - 小千谷市千谷 L= 170 m
 - 小千谷市木津 L= 120 m
 - 川口町天納 L= 40 m
- ・ 魚野川流域下水道(堀之内処理区)
 - 堀之内処理場 1 箇所
 - 魚沼市(旧堀之内町)上新道
 - 堀之内1号幹線管渠 1 箇所
 - 魚沼市(旧堀之内町)竜光 L= 5 m
 - 堀之内2号幹線管渠 1 箇所
 - 魚沼市(旧堀之内町)宇賀地 L= 5 m

⑤



【復旧状況】

・ 信濃川下流域下水道(長岡処理区)長岡1号幹線管渠

幹線管渠(小千谷市千谷)	応急復旧を完了
幹線管渠(小千谷市木津)	土砂除去完了
幹線管渠(川口町天納)	仮設管渠埋設完了

・ 魚野川流域下水道(堀之内処理区)

処理場(堀之内町上新道)	仮設沈殿池から水処理施設へ切り替えて本復旧完了
1号幹線管渠(魚沼市(堀之内町)竜光)	管渠を切り替えて処理場へ送水
2号幹線管渠(魚沼市(堀之内町)宇賀地)	仮設配管により処理場へ送水

◆市町村公共下水道施設

25市町村で被害があり、23市町村は応急復旧を完了。
残り2市町は道路の復旧に合わせて応急復旧予定。

市町村	下水道使用 不能世帯数	全戸に占める 割合
長岡市	約 27 世帯	1%以下
魚沼市(旧堀之内町)	約 19 世帯	1%以下
合計	約 46 世帯	



管渠破損状況



マンホール破損状況

土砂災害の発生状況

◆被害の発生状況

災害状況等	箇所数
地すべり・がけ崩れ等	267 箇所

家屋被害： 85戸
(全壊15戸、半壊24戸、一部損壊46戸)

【主な箇所】

長岡市(濁沢、滝谷、乙吉町)	見附市(嶺崎2丁目)
小千谷市(浦柄、塩谷、蕨生)	川口町(中山、小高)
山古志村(油夫、南平、東竹沢)	十日町市(樽沢、二ツ屋)
栃尾市(半蔵金、本所、栗山沢)	三島町(脇野町、西谷)
魚沼市(小出町・青島)	魚沼市(広神村・越又)
魚沼市(守門村・荒貫)	小国町(諏訪井)
新井市(長沢)	越路町(寺尾)



山古志村檜木



長岡市濁沢

【復旧状況】

- ・ 地すべり、がけ崩れ箇所では、亀裂の目つぶし、防水シートの設置等を実施
- ・ 土石流等の箇所では、ワイヤーセンサー、警報装置の設置や埋塞土砂の撤去を実施

危険度判定

◆建築物

被災住宅等の応急危険度判定を行い、余震に伴う人命の安全を図るために実施

市町村		表示ステッカーの種類			
市町村名	棟数	危険	要注意	調査済	計
長岡市	6,985	1,267	2,547	3,171	6,985
見附市	1,713	84	282	1,347	1,713
栃尾市	1,003	247	380	376	1,003
越路町	4,090	214	1,122	2,754	4,090
小千谷市	6,329	1,033	2,079	3,217	6,329
川口町	2,271	664	696	911	2,271
魚沼市	4,350	715	1,340	2,295	4,350
南魚沼市	273	32	93	148	273
十日町市	2,695	388	925	1,382	2,695
川西町	450	80	188	182	450
中里村	30	11	13	6	30
柏崎市	1,552	78	168	1,306	1,552
小国町	3,299	358	1,090	1,851	3,299
刈羽村	1,058	63	180	815	1,058
西山町	35	8	11	16	35
松代町	10	1	8	1	10
合計	36,143	5,243	11,122	19,778	36,143
割合		14.5%	30.8%	54.7%	

◆被災宅地

市街地や周辺の造成住宅団地の土留擁壁、宅地地盤、周囲の自然斜面など、宅地の危険度を判定

【判定を実施した市町村】

長岡市、見附市、小千谷市、十日町市、川口町、西山町、三島町、刈羽村、小国町、越路町、魚沼市(旧堀之内町、旧守門村、旧小出町、旧入広瀬村)

※今後は市町村の追加要請に応じて判定を実施

住宅相談・仮設住宅など

◆住宅相談所

13市町村で実施(長岡市、十日町市、小千谷市、見附市、栃尾市、小国町、川口町、越路町、魚沼市(旧小出町、旧堀之内町、旧入広瀬村)、西山町、三島町)

11月30日(月)までの相談件数 窓口相談 5,127 件 現場相談 3,944 件

◆住宅修繕支援隊本部の設置

被災者の生活の安定と被災地の復興を促進するため、地元工務店等による修繕工事を支援

11月5日(金) 支援隊本部を開設(新潟市)

◆空家情報提供センター

空家に関する情報の窓口を一本化し、被災者のニーズに応じた空家情報を効果的に提供

11月1日(月) 本オープン(新潟市)

◆仮設住宅の建設

市町村	要望戸数	着工済戸数	市町村	要望戸数	着工済戸数
長岡市	840	840	魚沼市	30	30
山古志村	632	632	十日町市	138	138
見附市	103	103	川西町	15	15
栃尾市	105	105	柏崎市	44	44
小千谷市	870	870	小国町	118	118
越路町	114	114	刈羽村	39	39
川口町	412	412	合計	3,460	3,460

- 長岡市の操作場跡地(C地区 仮設住宅建築中)にデイサービス(高齢者への入浴・食事・機能回復訓練等のサービスを提供)機能をもった集会所を建設

新潟県中越大震災による被害と復旧状況写真

道路施設の被害と復旧状況1

○国道351号:長岡市宮地



2車線復旧

○国道351号:長岡市乙吉



暫定1車線復旧

○国道252号:堀之内町上稲倉



暫定1車線復旧

道路施設の被害と復旧状況2

○国道117号:小千谷市細島



○国道291号:小千谷市浦柄



○国道291号:小千谷市浦柄(同上)



道路施設の被害と復旧状況3

○国道291号:小千谷市東山



○(主)柏崎越路線:柏崎市山潤



○(主)小千谷十日町津南線



河川施設の被害と復旧状況1

○一級河川朝日川:河川埋塞

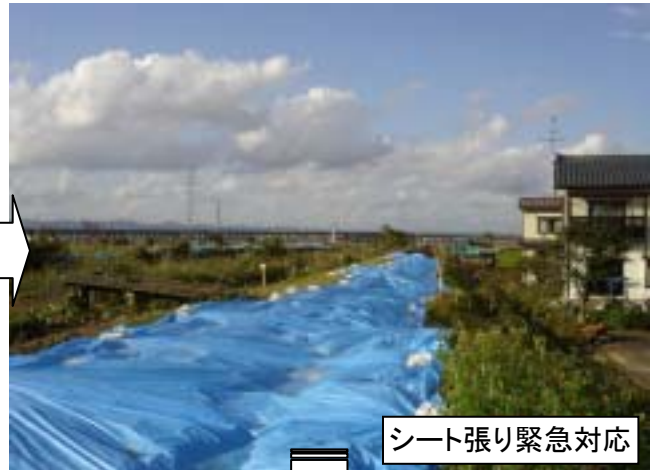


○一級河川刈谷田川:堤防亀裂



河川施設の被害と復旧状況2

○一級河川太田川：堤防亀裂



シート張り緊急対応



本堤防復旧

○一級河川野辺川：河川埋塞



仮廻しによる緊急対応



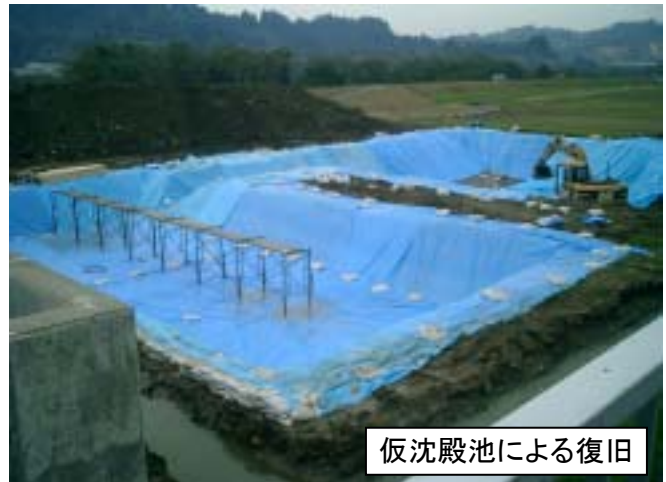
仮堤防による復旧

下水道施設の被害と復旧状況

○魚野川流域下水道(堀之内処理区)



堀之内処理場仮設沈殿池



仮沈殿池による復旧

○小千谷市公共下水道



竜光ポンプ場



送水管切替による復旧

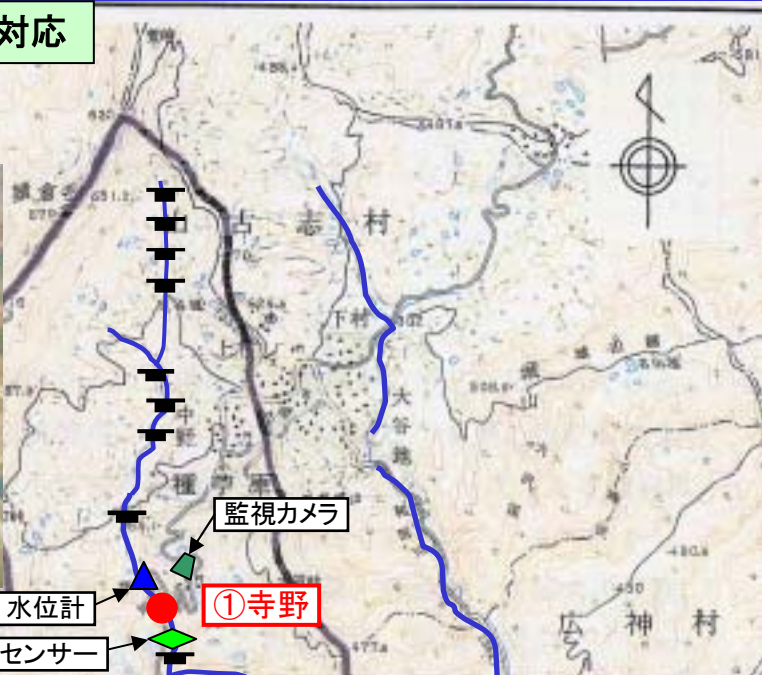


マンホール切断による復旧

芋川流域における河道閉塞状況と対応

● 河道閉塞箇所

①寺野(H16.11.3撮影)



④東竹沢(H16.11.3撮影)



山古志村役場

②南平

③榎木

山古志村
山古志村全戸:
10月25日避難指示

④東竹沢

小千谷市

水位計

監視カメラ

土石流センサー

⑤十二平

十二平地区全戸:
11月1日避難勧告

塩谷川

土石流センサー

水位計

仮設土砂止工

魚沼市(堀之内町)

警報装置

竜光地区全戸:
10月30日避難勧告
11月9日勧告解除

竜光

◆ 現況
芋川では土砂崩れによって大きなもので5つの河道閉塞が発生した。中でも寺野と東竹沢の湛水規模が大きく、余震や大雨による決壊に十分な注意が必要である。

◆ 対応策
・天端を開削し、仮排水路を設置するとともに、排水ポンプによる強制排水を行い、湛水の水位低下を図る。
・竜光集落内において、大型土嚢による堤防の嵩上げを実施。
・監視カメラを設置し常時監視するとともに、土石流ワイヤーセンサーと警報装置を設置。

芋川河道閉塞対応状況

○芋川流域：河道閉塞による湛水

【寺野地区】



緊急排水路、排水ポンプ設置
表面排水路(プレスト管、開水路)設置

【東竹沢地区】



緊急排水路、排水ポンプ設置
仮排水路、仮設排水管の設置

【下流芋川】



仮設土砂止工の設置

【竜光集落】



大型土嚢による芋川の堤防嵩上げ

国・自治体等による支援

被災者支援センター新潟

◆市町村道復旧支援本部

北陸地方整備局が「市町村道復旧支援本部」を設置し、市町村の被害状況を調査。
調査期間・人員 : 平成16年10月31日～11月3日、延べ550人
調査対象市町村 : 十日町市、小千谷市、栃尾市、川口町、魚沼市(旧広神村)

◆土砂災害対策緊急支援チーム

国土交通省、土木研究所、県、砂防ボランティア等で編成した「土砂災害対策緊急支援チーム」が、土砂災害危険箇所の点検を実施。
点検期間・人員 : 平成16年10月27日～31日、延べ508人
点検対象 : 小千谷市、山古志村等17市町村(現地に立入可能な1469箇所を調査)

◆下水道災害復旧支援本部

県と国が「新潟県中越地震下水道災害復旧支援本部」を設置し、北海道・東北各県及び政令市等の自治体職員の応援を得て、市町村に対して人的支援。
支援団体・人員 : 49自治体(北海道・東北ブロック、東京都、政令市)、延べ1,567人(1次調査終了まで)
支援対象市町村 : 16市町村

◆被災住宅の応急危険度判定

国土交通省、県、市町村の職員に加え、建築士会、県外からの応援を得て実施。
判定期間・人員 : 平成16年10月24日～11月10日、延べ3,787人

◆被災宅地の危険度判定

県、市町村の職員に加え、県外からの応援を得て実施。
判定期間・人員 : 平成16年10月27日～11月20日、延べ244人

◆応急仮設住宅等被災住宅関係の派遣支援

国土交通省及び7都府県1市の職員による応急仮設住宅の建設、住宅相談所及び住宅修繕支援本部の設置等についての指導及び支援。
支援期間・人員 : 平成16年10月26日～、延べ284人

◆被災宅地復旧支援隊

国土交通省が宅地防災の専門技術者を派遣し、被災宅地の復旧に係る対応の検討、技術指導を行う。
派遣期間・人員 : 平成16年11月15日～(約1ヶ月間)、延べ600人

◆国土交通省による市町村支援態勢

平成16年11月9日～ 2地方整備局から10市町村に対して56名の支援
平成16年11月15日～ 6地方整備局から9市町村に対して79名の支援

直轄事業による支援

◆直轄事業による支援

今回の地震で大規模に被災した国道291号の災害復旧事業及び河道閉塞が問題となっている芋川流域の山古志村寺野地区、東竹沢地区の砂防事業については、国が直轄事業として実施する。

◆「中越地震復旧対策準備室」の設置

事業を一括的かつ効率的に推進するため、北陸地方整備局内に「中越地震復旧対策室」を設置。

県体制の整備

今回の地震に対する公共土木施設の災害復旧を迅速かつ的確に行うため、新たな組織を整備すると共に、都道県職員の応援を受けて復旧体制の大幅な強化を図った。

◆新たな組織の設置

長岡地域振興局地域整備部 「地震災害復旧課」を新設
同局小千谷維持管理事務所 「災害復旧課」を新設

◆都道県等からの応援

11月1日～11月14日までの応援 16都道県から55名
11月15日～12月28日までの応援予定 23都道県、1政令市から93名
応援機関 : 長岡地域振興局地域整備部、同局小千谷維持管理事務所、小出地域振興局地域整備部、十日町地域振興局地域整備部、柏崎地域振興局地域整備部

【問い合わせ先】新潟県土木部 TEL(025)285-5511(代) <http://www.pref.niigata.jp/>